

# 市民参画のまちづくり 笠間市まちづくり教室

問合せ 市民活動課（内線 135） Mail: katsudo@city.kasama.lg.jp

活動報告㉑  
鯉焼き  
事業

まちづくり教室では、笠間のいろいろなイベントに鯉焼きならぬ“鯉焼き”的出店をしています。最近では鯉焼きのリピーターも多く、知る人ぞ知る笠間の名物になっています。

鯉焼きは稻田川の河川浄化活動の“鯉の放流”にちなんで、そのPRために企画されたものです。まちづくり教室の活動の一つとして継続して取り組んでいます。稻田川の河川浄化活動には、まちづくり教室の「環境美化グループ」のメンバーが深くかかわっています。鯉焼きの中身はほぼ小倉あんと決まっていますが“鯉焼き”はひとつあります。小倉あんだけではなくネギ辛みもあり、地産地消の推進の一端を担うべく、笠間産の栗やリンゴなどを使った季節限定のあんも考案し

## ◆鯉焼きならぬ“鯉焼き”的こと

て、工夫しながらメニューを増やしています。鯉焼きの出店をきっかけに、美味しい交流の輪が広がることを願っています。



ふるさと友部まつりでの出店

## ドイツ ラー市訪問

こんにちは市長室です



山口市長



公式歓迎式典で金の署名簿に署名  
左:ラー市長ヴォルフガング・ミュラー氏  
中央奥:搞宮司

10月19日～23日までドイツのラー市を、菊まつりを縁として、市村市議会議長、搞宮司をはじめとする笠間稲荷神社関係者、そして私と10名で訪問をしてまいりました。

昨年ラー市のミュラー市長らが笠間市を訪れた際にラー市への訪問を要請され、本年招待状を頂き、今回の訪問に至りました。

ラー市は、ドイツで唯一菊まつりを行なっており、人口は4万5000人、ドイツ南部フランス国境に近く、中世の城壁に囲まれた美しい街並みの都市であります。

ラー市の菊まつりは、美しい街並みと鮮やかな菊の色とが調和し、飾り付けについては、笠間の菊まつりとはまた違った工夫が

してありました。例えば、街灯、建物のベランダ等に菊を飾りつけたり、歩道に菊を並べたりしていました。

もう一つ大きな特徴として、菊まつり期間中は、市内のレストランが、菊入りのスープ、菊入りのアイスクリーム、ムース、菊のビールなど、菊に関する料理をメニューに取り入れていました。笠間でも必要と感じました。

さらに、菊まつりを実施するには多額の経費も必要であり、市から5,000万円ほどの負担と、地元経済会からの協力、そして市民の強い思いと協力があるとのことでした。どこにおいても、お金はかかるものであり、一方で市民の協力も必要不可欠であります。

3泊5日の強行日程でしたが、ラー市ミュラー市長をはじめ市議会、経済会関係者との交流を図ることができ、有意義な訪問がありました。今後、菊まつりを通じ、どのような交流を図っていくかが、一つの課題であります。遠い国であり、頻繁に行き来をするのは難しいですが、菊作りの職人さんの交流や、市の情報交換、子どもたちの作品交流等、各方面の意見を聞き、国際交流の観点からも形式的交流ではなく、自由で永続的な交流を行なつてまいりたいと考えています。

笠間市長  
山口伸樹